

CD30・Ber-H2（免疫組織化学染色）		P000030		
		担当部署		
CD30		病理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダー手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→		
	2	電子カルテ→指示②→病理組織検査→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満72時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		治療前		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 未染スライドガラス	該当なし	該当なし	1	枚
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		該当なし		
検体受入不可基準		破損したスライドガラス		
保管検体の保存期間		スライドガラス：半永久 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡		
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		2 ～ 3 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		『悪性リンパ腫における CD30 病理診断ガイドブック』を参照				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>CD30 は、ホジキンリンパ腫における単核のホジキン細胞および多核の Reed-Sternberg 細胞や、未分化大細胞型リンパ腫で発現します。本抗体は、リンパ腫や、リンパ節、脾臓、扁桃腺、胸腺に散在する活性化した大型の B 細胞および T 細胞の細胞膜、細胞質、ゴルジ体に反応を示します。また、形質細胞のごく一部でも反応を示すことがあります 8,9,10。本抗体による CD30 タンパクの検出は、ホジキンリンパ腫および未分化大細胞リンパ腫において、抗 CD30 抗体治療薬の適応を判断するための指標として使用可能です。</p>				